

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2012-136127

(P2012-136127A)

(43) 公開日 平成24年7月19日(2012.7.19)

(51) Int.Cl. F 1 テーマコード (参考)
B60N 3/10 (2006.01) B60N 3/10 A 3B088

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号	特願2010-288981 (P2010-288981)	(71) 出願人	000133098
(22) 出願日	平成22年12月25日 (2010.12.25)		株式会社タチエス
			東京都昭島市松原町3丁目3番7号
		(74) 代理人	100074321
			弁理士 山田 治彌
		(72) 発明者	牧田 直之
			東京都昭島市松原町3丁目3番7号 株式
			会社タチエス内
		Fターム(参考)	3B088 LA02 LB02

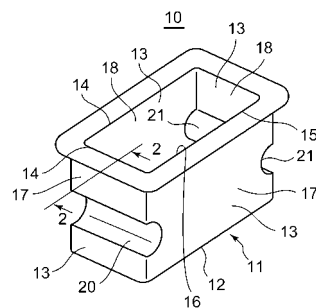
(54) 【発明の名称】 自動車シートに用いる軟質樹脂成形小物入れ

(57) 【要約】

【課題】シート・クッションやアームレストに埋め込んで小物入れやカップ立てに活用可能にされ、荷重が上方から加わる際、側壁の屈曲変形を吸収でき、その荷重を分散させてその屈曲変形によるしわや亀裂がその側壁に発生することを未然に防止でき、そして、外観品質を損なわずに長く保つ。

【解決手段】底壁12および側壁13からなり、そして、その側壁13の上端15を開口16に開放する容器11と、その容器11の開口端14でその側壁13の外周面17に突き出される周囲フランジ19とを含み、そして、潰れ変形可能な溝形曲り部分20、21が、その容器11の高さ方向の略中間でその側壁13のその外周面17の適宜の部分にへこんでその側壁13の内周面18に突き出されてその側壁13に横方向に適宜に伸び、そして、荷重が上方から加わると、上下方向に潰れ変形されてその荷重を分散させる。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

底壁および側壁からなり、そして、その側壁の上端を開口に開放する容器と、その容器の開口端でその側壁の外周面に突き出される周囲フランジとを含み、そして、潰れ変形可能な溝形曲り部分が、その容器の高さ方向の略中間でその側壁のその外周面の適宜の部分にへこんでその側壁の内周面に突き出されてその側壁に横方向に適宜に伸び、そして、荷重が上方から加わると、上下方向に潰れ変形されてその荷重を分散させるところの自動車シートに用いる軟質樹脂成形小物入れ。

【請求項 2】

底壁および側壁からなり、そして、その側壁の上端を開口に開放する容器と、その容器の開口端でその側壁の外周面に突き出される周囲フランジとを含み、そして、複数の潰れ変形可能な溝形曲り部分が、その容器の高さ方向の略中間でその側壁のその外周面の適宜の部分に向かい合ってへこんでその側壁の内周面に突き出されてその側壁に横方向に適宜に伸び、そして、荷重が上方から加わると、上下方向に潰れ変形されてその荷重を分散させるところの自動車シートに用いる軟質樹脂成形小物入れ。

10

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

この発明は、自動車シートのシート・クッションやアームレストなどに埋め込まれて小物を入れたり、また、カップ、ドリンク缶、コップなどを立てた状態に保持するカップ・ホルダーに活用するところの自動車シートに用いる軟質樹脂成形小物入れに関する。

20

【背景技術】**【0002】**

自動車シートでは、フランジ付き軟質樹脂成形容器がシート・クッションに埋め込まれて小物入れに活用されたり、また、アームレストに埋め込まれてそのアームレストの前倒し状態でカップ、ドリンク缶、コップなどを立てた状態に保持させて飲み物を飲めるように活用される。

この種の軟質樹脂成形容器は、荷重が上方から掛かると、側壁が屈曲変形され、それが繰り返されると、しわや亀裂がその側壁に発生して外観品質を損ねてしまう不具合があった。

30

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

この発明の課題は、シート・クッションやアームレストに埋め込んで小物入れやカップ立てに活用可能にされ、荷重が上方から加わる際、側壁の屈曲変形を吸収でき、その荷重を分散させてその屈曲変形によるしわや亀裂がその側壁に発生することを未然に防止でき、そして、外観品質を損なわないところの自動車シートに用いる軟質樹脂成形小物入れを提供する。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

この発明の自動車シートに用いる軟質樹脂成形小物入れは、底壁および側壁からなり、そして、その側壁の上端を開口に開放する容器と、その容器の開口端でその側壁の外周面に突き出される周囲フランジとを含み、そして、潰れ変形可能な溝形曲り部分が、その容器の高さ方向の略中間でその側壁のその外周面の適宜の部分にへこんでその側壁の内周面に突き出されてその側壁に横方向に適宜に伸び、そして、荷重が上方から加わると、上下方向に潰れ変形されてその荷重を分散させる。

40

【発明の効果】**【0005】**

この発明の自動車シートに用いる軟質樹脂成形小物入れでは、シート・クッションやアームレストに埋め込んで小物入れやカップ立てに活用可能になり、荷重が上方から加わる

50

際、側壁に予め形成した潰れ変形可能な溝形曲り部分が変形されてその側壁の屈曲変形が吸収され、その荷重がその潰れ変形可能な溝形曲り部分で分散されてその屈曲変形によるしわや亀裂がその側壁に発生することが未然に防止され、そして、外観品質が損なわれずに長く保たれる。

【図面の簡単な説明】

【0006】

【図1】乗用車のフロント・シートのシート・クッションに埋め込まれて小物入れに活用されるこの発明の自動車シートに用いる軟質樹脂成形小物入れの具体例を示した斜視図である。

【図2】図1の2-2線に沿って示した断面図である。

10

【図3】荷重が加わった状態で図1の2-2線に沿って示した断面図である。

【発明を実施するための形態】

【0007】

この発明の自動車シートに用いる軟質樹脂成形小物入れは、底壁および側壁からなり、そして、その側壁の上端を開口に開放する容器と、その容器の開口端でその側壁の外周面に突き出される周囲フランジとを含み、そして、潰れ変形可能な溝形曲り部分が、その容器の高さ方向の略中間でその側壁のその外周面の適宜の部分にへこんでその側壁の内周面に突き出されてその側壁に横方向に適宜に伸び、そして、荷重が上方から加わると、上下方向に潰れ変形されてその荷重を分散させる。

【0008】

20

また、この発明の自動車シートに用いる軟質樹脂成形小物入れは、底壁および側壁からなり、そして、その側壁の上端を開口に開放する容器と、その容器の開口端でその側壁の外周面に突き出される周囲フランジとを含み、そして、複数の潰れ変形可能な溝形曲り部分が、その容器の高さ方向の略中間でその側壁のその外周面の適宜の部分に向かい合っへこんでその側壁の内周面に突き出されてその側壁に横方向に適宜に伸び、そして、荷重が上方から加わると、上下方向に潰れ変形されてその荷重を分散させる。

【実施例1】

【0009】

以下、特定されて図示された具体例に基づいて、この発明の自動車シートに用いる軟質樹脂成形小物入れを説明するに、図1ないし図3は、乗用車のフロント・シートのシート・クッションに埋め込まれて小物入れに活用されるこの発明の自動車シートに用いる軟質樹脂成形小物入れの具体例10を示し、そして、この軟質樹脂成形小物入れ10では、容器11が、底壁12および側壁13からなり、そして、その側壁13の上端15を開口16に開放し、また、周囲フランジ19が、その容器11の開口端14でその側壁13の外周面17に突き出され、さらに、複数の潰れ変形可能な溝形曲り部分20、21が、その容器11の高さ方向の略中間でその側壁13のその外周面17の適宜の部分に向かい合っへこんでその側壁13の内周面18に突き出されてその側壁13に横方向に適宜の長さに伸びる構造が採られ、そして、型でその構造に軟質樹脂から一体的に成形される。

30

【0010】

40

その潰れ変形可能な溝形曲り部分20、21は、荷重が上方から加わると、上下方向に潰れ変形されてその荷重を分散させる機能をするので、その容器11がカップ立て、すなわち、カップ・ホルダーの形状に成形される場合、そのカップ・ホルダーの形状に応じて変形され、例えば、単一でもよく、また長くされても短くされてもかまわない。

【0011】

したがって、この軟質樹脂成形小物入れ10は、荷重が上方から加わると、その容器11のその側壁13ではその潰れ変形可能な溝形曲り部分20が上下方向に潰れ変形され、そして、その側壁13の屈曲変形がその潰れ変形可能な溝形曲り部分20に吸収されてその荷重もその潰れ変形可能な溝形曲り部分20で分散され、その結果、その屈曲変形によるしわや亀裂がその側壁13に発生することが未然に防止され、外観品質が損なわれずに

50

長く保たれ、そして、アームレストに埋め込んでカップ立て、すなわち、カップ・ホルダーに活用可能になる。

【 0 0 1 2 】

先に図面を参照して説明されたところのこの発明の特定された具体例から明らかであるように、この発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者にとって、この発明の内容は、その発明の性質 (n a t u r e) および本質 (s u b s t a n c e) に由来し、そして、それらを内在させると客観的に認められる別の態様に容易に具体化される。勿論、この発明の内容は、その発明の課題に相応し (b e c o m m e n s u r a t e w i t h)、そして、その発明の成立に必須である。

【 産業上の利用可能性 】

10

【 0 0 1 3 】

上述から理解されるように、この発明の自動車シートに用いる軟質樹脂成形小物入れは、底壁および側壁からなり、そして、その側壁の上端を開口に開放する容器と、その容器の開口端でその側壁の外周面に突き出される周囲フランジとを含み、そして、潰れ変形可能な溝形曲り部分が、その容器の高さ方向の略中間でその側壁のその外周面の適宜の部分にへこんでその側壁の内周面に突き出されてその側壁に横方向に適宜に伸び、そして、荷重が上方から加わると、上下方向に潰れ変形されてその荷重を分散させるので、この発明の自動車シートに用いる軟質樹脂成形小物入れでは、荷重が上方から加わる際、その側壁の屈曲変形が、その潰れ変形可能な溝形曲り部分で吸収されてその荷重もその潰れ変形可能な溝形曲り部分で分散され、その屈曲変形によるしわや亀裂がその側壁に発生することが未然に防止され、外観品質が損なわれずに長く保たれ、そして、シート・クッションやアームレストに埋め込まれて小物入れやカップ立て、すなわち、カップ・ホルダーに活用可能になり、その結果、自動車シートにとって非常に有用で実用的である。

20

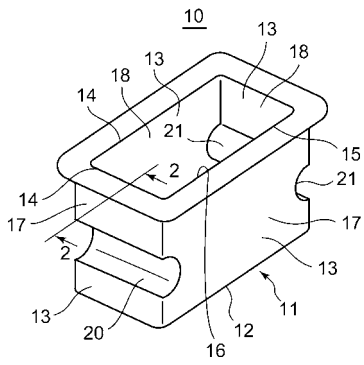
【 符号の説明 】

【 0 0 1 4 】

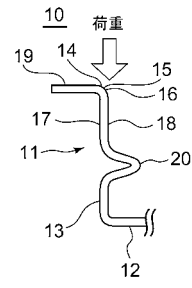
- 1 0 軟質樹脂成形小物入れ
- 1 1 容器
- 1 2 底壁
- 1 3 側壁
- 1 4 開口端
- 1 5 上端
- 1 6 開口
- 1 7 外周面
- 1 8 内周面
- 1 9 周囲フランジ
- 2 0 潰れ変形可能な溝形曲り部分
- 2 1 潰れ変形可能な溝形曲り部分

30

【 図 1 】



【 図 3 】



【 図 2 】

